

# 上南ぶっくらんど

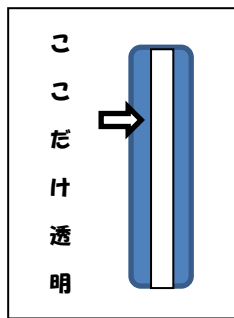
図書館は、皆さんの「読みたい」気持ちや「知りたい」気持ちを応援しています！  
たくさん本を読みましょう。

## 上南中図書館 臨時休校期間中の貸出について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休校期間中の対応について説明します。  
本校図書館では、登校日には本を借りてよいこととし、貸出冊数を無制限にしています。  
現在借りている本は、学校が再開した後に返しに来てください。



## オリエンテーションで図書館用品の紹介をしました



今年の4月は例年以上にあわただしく、時間がない中ではありましたが、1年生には図書館のオリエンテーションをする時間を設けました。その中で、このような図書館用品の紹介をしました。こちらは商品名を「リーディングトラック」といいます。「ずら～っと文が連なっているものを読む場合、どこを読んでいたのかがわかりにくくなる」という不便さを解消するために作られたもので、1行ずつ文章を読めるように両隣の行を隠せるようになっています。定規のような形をしていて、真ん中が透明になっています。

「おもしろそうだな」と思ったら使ってみてください（ただし貸出はできません。図書館の中だけで使ってくださいね）読書する場面で、みなさんの「読みにくい」「不便だな」「面倒だな」といった思いが少しでも解消されて、快適に読書を楽しめるようになってくれたらいいなと思っています。

## 考えよう メディア・情報リテラシー

学校図書館には「情報の受け取り方・分析の仕方・発信の仕方」などに関する本がいろいろあります。みなさんが情報を上手に受け取り、発信できるようになるために、これらの本を役立ててもらいたいと思っています。



テレビを見てもインターネットを見ても、さまざまな情報があふれかえっている現在。「正しい情報だけを受け取りたいのはやまやまだけれど、情報の真偽を確かめるというのは結構難しい」と思います。特に最近のニュースを見ていると、つくづくそう感じます。そこで『10代からの情報キャッチボール入門 使えるメディア・リテラシー』（下村健一、岩波書店）という本から、キーワードとなる大事な言葉を紹介します。

「まだ、わからないよね？」

“このことが絶対に悪いに違いない” “これさえあれば、もう大丈夫！” “このままではすべてダメになってしまうに違いない” …情報にはいろいろあるけれど、ホントかうソかわからない。そんな時に「ホントかうソかわからないものは、『わからない』と言ってしまえばいいのだ」という、当たり前だけど大事なことを教えてくれる言葉です。「間違っただけを信じてしまう」というトラブルは、わからないことを無理にわかろうとしたり、早く結論を出して安心したいと焦ったりした時に起こりがち。「まだわからない」と結論を保留することは「次の情報を得よう」という意欲を持つことにつながるので、とても大切なことなのです。

火事・地震など命にかかわること以外であれば、「即断即決」しないといけない問題なんて、そんなにたくさんありません。結論を保留しつつ、できるだけ幅広い情報を得ようとし続けることが「情報の真偽を確かめる」上ではとても大事なのだということに気づかされます。

詳しくは『10代からの情報キャッチボール入門』を読んでみてください。